

堤防決壊！その時どうする！！

～鬼怒川決壊を受けた堤防決壊緊急対応シミュレーション～

武雄河川事務所 最近の話題

鬼怒川の堤防決壊を受け、武雄河川事務所では、堤防決壊時の対応強化として、今年度2度目の緊急対応シミュレーションを実施しました。

さる10月27日（火）、職員・防災エキスパート会・災害時協定業者（土木工事・コンサル）の30社、約70名が参加し、堤防決壊時の緊急対応シミュレーション（洪水時②）を実施しました。

今回のシミュレーションでは、①復旧工法の決定、②復旧工事に向けた初動対応、③復旧現場の情報収集、④浸水域の排水対応を重点に据え、実践的な演習を計画・実施しました。

演習は、六角川班、松浦川班の2班体制で、前述の4項目について討議・作業を実施し、検討結果の発表を行いました。今回の演習では災害協定業者となっているコンサルタントも参加し、破堤時の堤内側への流速の考え方、軟弱地盤上での復旧工法の妥当性（地耐力等）についての説明や検討を実施しました。

●事務所長挨拶

堤防決壊時の緊急対策シミュレ



▲浸水シミュレーションシステムの説明



六角川は、外水より内水の影響により浸水が始まり・・・！

◆シミュレーションの実施状況



浸水想定エリアは・・・、
排水ポンプ車の配置箇所は・・・、



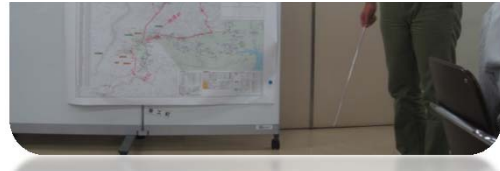
■各班からの発表（課題4項目についての検討結果について発表！）

1班 徳須恵川



2班 六角川





◎参加者からの意見・課題等

- ①緊急時にどのような対応が必要か、理解が深まった。(施)
- ②復旧資材や運搬路の状況等、日頃から把握しておく必要性を認識した。(施)
- ③今回の想定では、備蓄資材で概ねの対応ができたが、災害時には複数箇所の被災や資材の流失、沈下、落掘れの拡大等を考慮すると資材不足が考えられる。
- ④復旧の迅速性を考慮し、嘉瀬川防災ステーションの資材(シェルトン)を利用する計画としたが、災害時に融通して貰えるかは疑問であり、同資材の計画的備蓄が必要。
- ⑤資機材の確保、調達もさることながら、業者間の連携も重要。巡視の訓練や安全大会等で施工業者が集まる時に、事務所、出張所も含めコミュニケーションをとっておく。



編集後記 :

堤防決壊時の緊急対応シミュレーションに参加された皆様には、お疲れ様でした。今回の訓練では、本番さながらの緊迫感(フレッシャー?)の中、職員に加え、エキスパート会、施工業者、資材業者等、多数の方に参加頂き、短時間で多くの課題(4項目)を検討頂きました。

また、初の試みとして、コンサルタントさんにも参加頂き、土質や破堤時の流速、ブロックの大きさ等、的確なご意見を頂き、大変有意義な会になりました。

ご多忙の中、早く御参加頂きました皆様へ感謝申し上げます。
ご協力ありがとうございました。



訓練実施責任者談